

高齢者の交通死亡事故の防止について

高知県では、高齢者が犠牲になる交通事故が多発し、6月20日には「高齢者交通死亡事故多発警報」が発令されました。

8月15日現在、交通事故による死亡者の数は38人で、そのうち高齢者が24人を占めています。

特に8月5日以降、高齢者が犠牲になる交通事故が連続しており、8月19日までに1件発生すれば、今年2度目の「高齢者交通死亡事故多発警報」の発令基準に達する事態となっています。

高齢者の死亡事故で多いのは、道路を歩いて横断中に車にはねられる事故や、運転中にハンドル操作を誤る自損事故です。

ドライバーの皆さんは、安全確認をしっかりと行い、高齢者への思いやりを持った安全運転をお願いします。高齢者の方は交通事故を他人事と思わず、車の動きに細心の注意を払ってください。

また、町民の皆さんは、高齢者の交通安全にいつそう配慮するとともに、交通ルールと交通マナーを守り、交通事故に遭わないよう、また、交通事故を起こさないよう気をつけてください。